

情報発信の在り方等に関する検討会の発足について

自動車リサイクル制度施行後10年に伴う見直しの議論を受けて、公益財団法人自動車リサイクル促進センター[東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階 代表理事: 郡 篤孝](以下、「JARC」という。)は、制度における自動車ユーザーへの情報発信等に係る様々な課題を検討し発展的取組みに繋げる検討会を発足いたします。

1. 背景・経緯

国内において発生する年間約330万台の使用済自動車のリサイクル率は、自動車リサイクル制度の下で自動車ユーザー、自動車製造業者、関連事業者等が、国内実情に配慮し、循環型社会の構築を目標に取り組みを進めた結果、車両重量ベースで約99%のリサイクル率を達成しているところです。

また、制度制定の目的であった不法投棄等の未然防止・シュレッダーダスト等の最終処分量の極小化が概ね図られている現状を踏まえ、国が設置する合同会議(注1)における制度施行後10年に伴う見直しの議論においては、自動車における3R(注2)の推進・質の向上、自動車リサイクル制度の安定的かつ効率的な運用、そして今後の制度のあるべき姿等の論点を中心に議論が行われてきました。

今年9月開催の合同会議で取りまとめられた報告書(注3)においては、自動車ユーザーへの情報発信等の取組みについて多くの課題が示されており、これを受けJARCは国の要請に基づき標記検討会を発足することとしました。

2. メンバー構成(敬称略)

永田勝也(早稲田大学名誉教授)【座長】
織朱實(上智大学大学院地球環境学研究科教授)
大石美奈子(公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会理事・環境委員長)
一般社団法人日本自動車連盟
一般社団法人日本自動車工業会
日本自動車輸入組合
一般社団法人日本自動車販売協会連合会
一般社団法人全国軽自動車協会連合会
一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会
一般社団法人日本ELVリサイクル機構
自治体関連団体

3. 主な検討テーマ

- ①自動車製造業者等・解体業者におけるユーザーへの情報発信
環境配慮設計・再生資源利用の進んだ自動車、リユース・リビルト部品のユーザー選択の促進 等
- ②引取業者におけるユーザーへの情報発信
使用済自動車の価値等にかかるユーザーへの情報発信 等
- ③JARC 機能の一層の発揮
システム改善ニーズの把握、管理情報の発展的活用、JARCによるユーザーへの情報発信 等

4. 今後の予定

11月に初回を開催し、来年7月を目処に取りまとめを行う予定です。
取りまとめた内容は来年度開催の合同会議に報告・公表する予定です。
※検討会における配付資料、議事概要については、原則公開とします

(注 1) 産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 自動車リサイクルワーキンググループ、中央環境審議会 循環型社会部会 自動車リサイクル専門委員会

(注 2) 3Rとは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の活動

(注 3) 『自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書』の詳細については、経済産業省の Web ページをご参照

URL: http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/sangyougijutsu/haiki_recycle/car_wg/report_01.html



(本発表資料のお問い合わせ先)
公益財団法人自動車リサイクル促進センター
担当 : 橋本、小久保
電話 : 03-5733-8300